

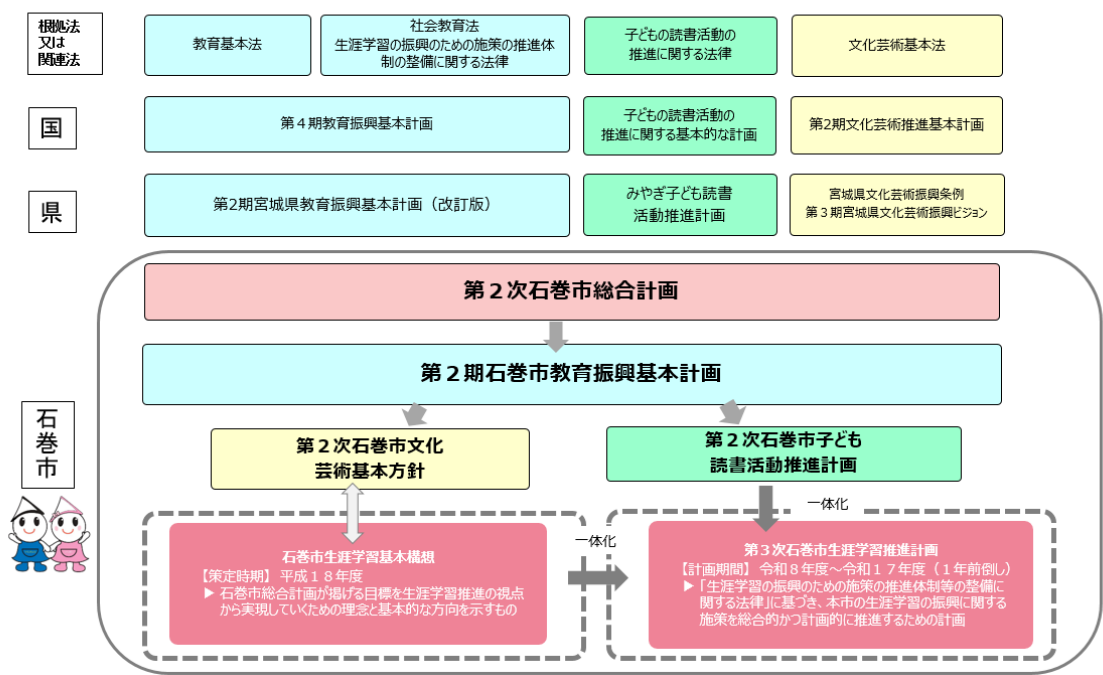
第1章 計画の基本事項

◆策定の目的

学びを通じて個人の人生を豊かにするとともに、豊かな人と人とのつながりを創出することで、生きがいを持ち、自分らしく安心して暮らすことができる地域の実現を目的として策定します。

また、本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」及び「文化芸術基本法」に基づく計画を包含しています。

第3次石巻市生涯学習推進計画の位置付け



◆計画の期間

本計画の期間は、令和8年度（2026年度）から令和17年度（2035年度）までの10年間とし、中間年である令和13年度（2031年度）を目途に見直しを行うこととします。

また、社会情勢の変化等により、見直しの必要が生じた場合には、適宜内容の見直しと変更を行うこととします。

◆生涯学習の定義

生涯学習とは、一人一人が自由な意志に基づき、必要に応じて、自分に適した手段、方法を選択して、いきいきと豊かな生活を目指して、生涯を通じて行う学習のことをいい、社会教育、学校教育、家庭教育といったすべての学習活動を含むものです。

分野及び学習形態も様々であり、人々が生涯を通じて、多様な機会、方法により展開される学習活動全体を指しています。



第2章 石巻市の生涯学習を取り巻く状況

◆生涯学習に関する国・県の動向

国及び宮城県においては、生涯学習を取り巻く状況の変化等に対応するため、法改正、計画の策定等をしており、これらを踏まえて本計画を策定しました。

◆現状と課題

1 情報化の進展	・オンラインの導入や参加しやすい時間帯での開催
2 長寿社会・超高齢化社会の到来	・生きがいをもって暮らすことの環境づくり ・生きがいをもって、より自分らしい豊かな人生を選び取ることのできる環境
3 人口減少	・社会教育を担う人材の確保や育成、活用 ・各地域が主体性をもって個性を発揮しながら持続していくための地域内交流の促進 ・学習機会や学びの成果を生かして活躍できる機会の充実
4 新型コロナウイルス感染症をきっかけとした学習環境の変化	・デジタル・ディバイドの解消とデジタルリテラシーの向上
5 情報提供とサポート	・学習や活動場所に関する情報提供の拡充と学習を阻害している要因の把握と改善 ・生涯学習相談やコーディネート機能の強化など、新たな学びを始める市民やさらに深めたい市民へのサポート
6 地域のつながり	・コミュニティの形成・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」の取組み ・住民自治組織を中核とした、地域資源や地域の特性を活かした地域づくり
7 生涯学習によるつながりづくり	・人やコミュニティとつながる仕組みづくりや、そこから発展する活動の支援
8 社会教育関係団体の活動の継続と活性化に向けた支援	・仲間づくりや活動の場の提供、団体情報の発信等、個別団体への支援にとどまらず、団体同士をつなぐための支援
9 学習環境の整備	・生涯学習の拠点として市民が利用できる環境整備 ・新しい学習形態に対応する機能強化や環境整備
10 読書環境の整備	・紙の書籍と電子書籍、それぞれの利点を生かした読書環境整備 ・家庭や学校において身近に読書を促す環境の不足 ・図書館と学校が連携して良書に出会う機会の拡大 ・支援人材の不足や図書館と地域の連携強化など複合的な取組
11 市民が文化芸術を身近に感じられる環境づくりの推進	・異なる分野の芸術団体が連携し、個別団体、分野での活動やイベント情報を入手できる取組の推進
12 市民の自主的かつ創造的な文化芸術活動の促進	・アートマネジメントができる人材の育成
13 文化芸術を活用した市民の郷土愛	・異なる文化芸術団体との連携や様々な事業分野との連携

◆石巻市の生涯学習に関する状況（市民アンケートから）

【個人向け調査結果の抜粋】

生涯学習活動をしている理由	「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」、「自分の健康を維持・増進したい」、「知識・教養・技術を身に付けたい」といった意見が多くありました。
生涯学習で得た知識・技能・経験の活用	「既に生かしている」、「生かしたいが、できていない」という意見が全体の5割以上となっており、半数以上の方が知識等を生かしたいと考えています。 また、既に生かしていると回答した人からは、「その活動の普及・啓発を行っている」、「ボランティア活動をしている」、「自治体・町内会活動に生かしている」といった意見が多くありました。
生涯学習への取組意欲	「取り組みたいと思う」、「どちらかといえば思う」という意見が全体の8割以上でした。 また、どのような手段で取り組みたいかについて、「市や地域団体が開催する講座・教室」、「個人レッスン、カルチャーセンター、スポーツクラブなどの民間の講座・教室」、「パソコンやスマホを用いたオンライン講座」といった意見が多くありました。
生涯学習に取り組むにあたって妨げとなること	「仕事や家事が忙しくて時間がない」、「費用がかかる」、「面倒である」といった意見が多くありました。
生涯学習を盛んにするために力を入れるべき点	「生涯学習講座の内容を充実させる」、「生涯学習に関する情報発信」、「地域で講座等を企画、支援する人材の育成」といった意見が多くありました。

【社会教育団体向け調査結果の抜粋】

団体活動を行う上での課題や問題点	「会員の高齢化」、「新規会員が入会しない」、「リーダー、指導者の不足」といった意見が多くありました。
今後の団体活動を行う上で、市に望むこと	「会員募集の支援や活動についてのPR」、「他団体と交流する場・機会を増やす」、「活動成果の発表の場（イベント等）を増やす」といった意見が多くありました。

第3章 計画の基本的な考え方

◆基本理念

市民アンケートの結果、生涯学習活動が市民の生きがいや健康に大きく寄与していることがわかりました。また、市民の生涯学習への意欲も高いことから、参加者を増やし、学びを通じて充実した生活を実感できる環境を整えることが求められています。

さらに、自発的な学びは心の豊かさや新たな関心を育み、知的好奇心を刺激します。

これによって自己実現や地域の絆が深まるとともに、地域資源を活用した学びの機会を提供することで地域力が育まれることから、本市の現状や特色を基に生涯学習施策の在り方を基本理念として設定します。



基本理念

生涯学習を通して誰もが心豊かに暮らし
ここで暮らすことに誇りを持てるまち いしのまき



◆計画とSDGs

子どもから高齢者まで「誰一人取り残さない」社会の実現を意識し、生涯学習関連事業の実施に当たり、SDGsに掲げられた目標のうち、「4.質の高い教育をみんなに」、「5.ジェンダー平等を実現しよう」、「8.働きがいも経済成長も」、「10.人や国の不平等をなくそう」、「11.住み続けられるまちづくりを」、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」等に対応する施策を体系的に位置づけ、事業を展開していきます。



第4章 施策の展開

◆基本目標1 生涯を通して学び、生きがいを持って暮らすことのできる環境づくりの推進

市民一人一人が主体的に学習に取り組むことで、生きがいを持って生き活きとしながら地域に関わり、連携を深めることで、より活気のある共生社会の形成を目指します。

K G I		現状値 (R6 年度実績)		目標値 (R12 年度)
生涯学習に取り組んでいる市民の割合		23.3%		43.3%
施策の展開	K P I	現状値 (R6 年度)	目標値 (R12 年度)	主な取組
多様な学習機会の提供	まなび舎講座登録数	30講座	50講座	・石巻市民大学「まなび舎」 ・出前講座 ・市民教養講座事業 など
情報の提供と相談支援	日常において、何らかの学習をしている又は学習をしたい人の割合	84.0%	89.0%	・生涯学習情報提供事業 ・健康づくり推進事業
人材の育成と推進体制づくり	学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験をまちづくりや地域の活性化のための活動に生かす人の割合	24.0%	40.0%	・いしのまき人財・地域創生会議 ・公民館青少年体験活動事業 ・男女共同参画推進事業

◆基本目標2 家庭の教育力の向上

近年、共働き世帯の増加や地域社会とのつながりの希薄化などにより、子育てに不安や悩みを抱える保護者が増え、家庭の教育力の向上が重要な課題となっていることから、家庭の自主性を尊重しつつ、家庭教育を社

第3次石巻市生涯学習推進計画【概要版】案

会全体で支援する仕組みを強化します。

K G I		現状値（R6 年度実績）		目標値（R12 年度）
「自分には、よいところがある」と思う児童生徒の割合 （上段：小学生、下段：中学生）		83.8% 82.6%		89.0% 88.0%
施策の展開	K P I	現状値 （R6 年度）	目標値 （R12 年度）	主な取組
家庭の教育力の充実	家庭教育学級の対象機関における実施率	64.0%	75.0%	・家庭教育学級開設事業 ・学力向上推進事業（家庭教育の啓発） ・親になるための教育事業など
子どもと親が共に育ちあう場の提供	親学び講座内容が自身の子育てや生活に役立つと答えた人の割合	92.9%	98.0%	・家庭教育支援事業 ・子育てしやすい職場環境整備推進事業 ・地域子ども・子育て情報発信事業
幼児教育の充実	児童の発達に応じた教育につなげることができたと回答した小学校の割合	100%	100%	・幼児教育推進事業

◆基本目標3 地域との連携・協働による学習活動の充実

学校教育と社会教育の両方において、子どもたちや住民の学びを深め、社会性を育む上で地域資源を最大限に活用し、「開かれた学校」、そして「学校と地域がともにつくる学びの場」を実現することを目指します。

K G I		現状値（R6 年度実績）		目標値（R12 年度）
地域に支えられていると感じる児童生徒の割合		95.6%		100%
施策の展開	K P I	現状値 （R6 年度）	目標値 （R12 年度）	主な取組
学校と地域がともにつくる学びの場	協働教育事業に携わった地域住民数	13,364人	14,000人	・学校体育施設開放事業 ・協働教育事業 ・放課後子ども教室推進事業など
地域における子どもの体験機会の確保	地域に愛着がある児童生徒の割合	74.1%	100%	・少年指導者育成事業 ・ふるさと子どもカレッジ事業 ・外部人材活用事業
生涯学習を通したまちづくり	地域における交流事業への参加割合	54.2%	66.0%	・ずっと住みたい地域づくり支援事業

◆基本目標4 子どもの自主的な読書活動の推進

読書の楽しさを知り、生涯にわたって主体的に本と関わる態度を育むため、子ども自身の興味や関心に基づいた「読みたい」という意欲を引き出す施策を展開します。

K G I		現状値（R6 年度実績）		目標値（R12 年度）
1 か月に 1 冊以上本を読んだと答えた児童・生徒の割合 （上段：小学生、下段：中学生）		89.1% 69.8%		93.0% 84.0%
施策の展開	K P I	現状値 （R6 年度）	目標値 （R12 年度）	主な取組
子どもが読書に親しむ機会の提供と充実	読書が好きと答えた児童生徒の割合 （上段：小学生、下段：中学生）	79.5% 65.0%	86.4% 75.8%	・ブックスタート事業 ・電子図書整備事業
子どもを取り巻く読書環境の整備・充実	学校図書館の一人当たりの年間図書貸出冊数	18冊	20冊	・学校図書館担当職員配置事業
家庭・地域・学校等を通じた社会全体での取組の推進	図書館利用者数	131,689 人	145,900 人	・読書環境整備事業 ・いつでも・どこでも・だれでも情報利用整備事業
子どもの読書活動に関する啓発と推進機運の醸成	子ども読書活動推進研修会において、研修会が読み聞かせの参考になったと答えた参加者の割合	97.0%	100%	・読み聞かせ研修事業

◆基本目標5 文化芸術に親しむことのできる環境づくりの推進

すべての人々が日常生活の中で文化芸術を鑑賞、体験できる機会を拡大し、心豊かな生活と社会の活性化を目指します。

K G I		現状値（R6 年度実績）		目標値（R12 年度）
文化芸術に係る展示内容に対する満足度		85.8%		92.5%
施策の展開	K P I	現状値 （R6 年度）	目標値 （R12 年度）	主な取組
情報提供機能の強化	文化芸術に関する情報提供に満足している人の割合	34.5%	44.5%	・（新規）文化芸術情報発信事業 ・（新規）文化財マップ公開事業など
文化芸術に親しめる環境づくり	文化芸術の鑑賞をした人の割合	58.1%	68.0%	・青少年文化芸術鑑賞事業 ・文化芸術事業 ・（新規）障害者芸術文化活動推進事業 など

◆基本目標6 自主的で創造的な文化芸術活動の推進

年齢や経験などを問わず、より多くの市民が自らの意思で表現し、創造し、発表したり鑑賞することのできる環境づくりに取組みます。

K G I		現状値 (R6 年度実績)		目標値 (R12 年度)
文化芸術活動をした人の割合		24.9%		30.0%
施策の展開	K P I	現状値 (R6 年度)	目標値 (R12 年度)	主な取組
文化芸術活動を行う団体への支援	文化芸術活動をしている人から影響を受けて文化芸術活動を始めようと思った人の割合	35.7%	41.0%	・文化芸術活動サポート事業 ・文化芸術支援事業
文化芸術を担う人材の育成	博物館実習受入事業の受入人数	8人	6人	・部活動地域展開事業 ・(新規)文化芸術人材育成事業 ・博物館実習受入事業
発表機会の充実	活動場所が市内の割合	78.6%	84.0%	・市美術展実施事業 ・公民館地域文化活動事業

◆基本目標7 文化芸術を活用したシビックプライドの醸成

文化芸術を活用したシビックプライド（Civic Pride）の醸成により、地域住民が自らのまちに対して「愛着」「誇り」「責任」を持つ意識を高め、地域活動への積極的な参加や、地域外への魅力発信を促します。

K G I		現状値 (R6 年度実績)		目標値 (R12 年度)
住んでいる地域の伝統芸能の担い手として今後参加したいと思う人の割合		40.2%		45.0%
施策の展開	K P I	現状値 (R6 年度)	目標値 (R12 年度)	主な取組
伝統芸能の保存と魅力の発信	無形民俗文化財の保存に係る支援団体の事業実施件数	18件	18件	・市指定無形民俗文化財保存支援事業
文化財に触れる機会の充実	市内文化施設入込数	27,391人	30,000人	・国指定齋藤氏庭園管理事業 ・石巻市指定文化財旧観慶丸商店保存活用事業 ・芸術文化委託事業 など
本市の魅力や特性を生かした文化芸術活動の促進	市内文化施設及びマンガ関連施設入込数	200,497人	210,000人	・日本遺産「みちのくGOLD浪漫」普及啓発・活用推進事業 ・(新規)学芸員情報連携事業など

第5章 計画の推進

◆推進体制

生涯学習社会の実現には、学校教育や社会教育等を担う教育委員会と、福祉、健康、子育て、環境、防災、労働、地域振興等を担う関係部局との連携が不可欠なため、部局間の連携・調整を行い、各関係部局が一丸となって、市民の学習活動を支援する体制を整備し、各種事業を円滑かつ効果的に推進します。

◆進行管理

毎年度内部で評価検証を行うほか、「社会教育委員会議」において達成度を評価することで、本計画の進行管理を行い、その結果を公表します。

また、評価結果や社会教育委員の意見、市民アンケート調査結果を踏まえ、随時、事業の見直し等を行うほか、市の財政状況も踏まえながら策定する総合計画実施計画に事業を位置付けて推進することで、PDCAサイクルを確立し、施策・事業を推進していきます。

◆市民、事業者、関係団体等との協働

市民、学校、社会教育関係団体等、生涯学習に関わる各主体と市の役割を明確にし、本市の生涯学習のさらなる推進・活性化に向けた連携・協働に取り組めます。

